

企業
情報

株式会社ビバ
業種：小売業
従業員規模：11～50人

課題
分類

業務プロセスの効率化
商品・サービスの質向上

DX実践の
目的

サプライチェーン

棚卸業務のデジタル化による棚卸日数の短縮、在庫の適正管理

課題
内容

- 健康食品や自然食品の製造企画販売を行っているが、取扱商品数が多く、在庫を目視で把握するのが難しかった。
- 卸売商品は卸先やロットによって価格が異なるため、同一商品に複数の品番が存在しており、既製のシステムが合わなかった。
- 棚卸の実施日は通常業務をストップし、直営店舗は休みにしていた。作業員10人で在庫数を手作業で数え、商品リストに手書きで記入し、集計担当に提出。後日集計担当者がExcelに転記していたため、転記ミスが発生し、集計作業開始から棚卸確定までに1週間程度の期間を要していた。

実概
要施

- カスタマイズ可能な倉庫管理システムを導入。自社特有の複数品番に対応できるようにした。
- 商品のバーコードをハンディターミナル（携帯端末）で読み取ると数量がカウントされるので、手作業で数える必要がなくなった。システムに直接反映されるので、在庫数が自動で集計される。

効果

- 正確に在庫数量が把握できるようになった。
- 棚卸作業に携わる人員が5人に減少したため、通常業務をストップせずに棚卸が完了するようになった。棚卸確定までの時間が1日に短縮された。
- 数字の打ち間違えなど、ヒューマンエラーを防げるようになった。
- 在庫数量が正確に把握できるため、欠品を未然に防ぐための計画的な発注ができるようになった。

苦労話

システムの導入検討段階で、費用対効果の見極めをするため、システム会社と何度も会議を開いて自社の現状や課題を抽出し、すり合わせる作業を繰り返した。

IT
ツール

【使用ツール】 インターストック <https://www.inter-stock.net/>
 【取り扱い企業】 株式会社オンザリンクス <https://www.onzalinx.co.jp/>
 【ツール概要】 セミスクラッチ型在庫管理システム

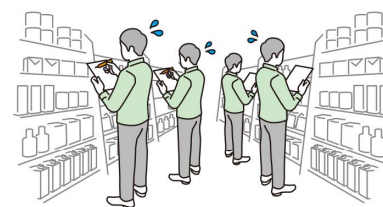


Point

・棚卸業務のデジタル化、集計の自動化により、
棚卸に携わる人員が半減し、作業日数も1/7に短縮した

【導入前】商品数が多く複雑な品番付けのため、目視と手動計数で管理

- ◆ 在庫数の管理や集計を手作業で実施
- ◆ 棚卸確定までに1週間かかっていた



手書きメモを
集計担当へ提出



Excelへの転記
作業でミスが発生

【導入後】ハンディターミナルによるカウントと自動集計で効率化

- ◆ ハンディターミナルで
バーコードを読み取り、集計を自動化
- ◆ 棚卸確定まで1日で完了
- ◆ 発注業務のクオリティ向上



自動
集計



正確な在庫数を基に
計画的に発注

作業効率化

在庫数の適正管理

補助金活用

IT導入補助金